

さまざまな活動を通して 次世代型リーダーを育てる楠隼中学校・高等学校

楠隼中学校・楠隼高等学校

新型コロナウイルスの影響でさまざまな行事が中止や縮小される中、「今できることを精一杯にやろう」をモットーに2学期に取り組んだことの一部を紹介します。

“深める”秋 中学校学年行事



塚崎の大楠(肝付町)

10月9日(金)は中学1年生から3年生までそれぞれ学年行事を行いました。

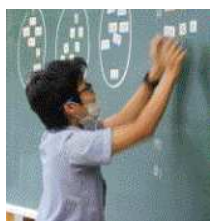
1年生は自分たちが暮らす肝付町をはじめとした大隅を理解するために“ディスカバリー大隅”に取り組みました。高山城跡、肝付歴史民俗資料館、塚崎古墳などを巡りました。大隅の歴史・文化・産業に目を向け、地元のことを深く理解する機会となりました。

2年生は予定されていた職場体験学習の代わりに、リモートでの“社会人に学ぶ”に取り組みました。肝付町の職場で実際に働いていらっしゃる方々から仕事の内容を聞き、



働くことの意義や職業に対する意識を高め、望ましい職業観や勤労観を養いました。

3年生は大隅少年自然の家で行う予定だったチャイニーズキャンプを、場所を学校に変更して“チャイニーズデイ”と称して行いました。2年



次から週1時間学習している内容を振り返り、これまでに身に付けたことを基に自己紹介をしたりクイズを解いたりすることで、一人一人の中国語でのコミュニケーション能力の向上につなげることができました。

高校2年 語学研修 in Nagasaki

10月30日(金)～11月3日(火)の日程で、海外大学での研修を長崎に変更し語学研修を実施しました。グローバル時代を生きる上で必要な人間力を鍛えることを目標としたプログラムで、今回は外国人留学生との交流やディスカッションを通して思考力や表現力の深化・拡充を図りました。

「Positive Thinking」, 「My Identity」などのテーマに基づき考えを深めたり、自分の考えを友人と共有したりし、最終日のプレゼンテーションでは、「研修から何を学んだか」、「自分の夢とその夢を叶えるために今からできる行動」のテーマについて自らの思いを発表しました。「英語で自分の考えを主張できるようになった。」「ネガティブ思考からポジティブ思考が変わって、世界の見え方が変わった。」など、生徒一人一人が自分の殻を破る充実した研修になりました。



第2回トップリーダー教室

本校では年に3回トップリーダー教室を行っています。今回は東京大学薬学部教授の池谷裕二先生を講師として迎え、「脳科学で見る未来と夢を掴む勉強法」と題してオンラインで講演をしていただきました。講演では専門の神経科学の論文を紹介され、普段の勉強方法などに関連付けて話してくださいました。先生の興味深い話に生徒たちも熱心にメモをとっており、特に学力向上のための「熱意」の大切さに気付かされているようでした。また、質疑応答の時間には講演の中で気になったことを積極的に質問する生徒が多く見られ、先生もさまざまな質問に丁寧に答えてくださいました。

